

2 概要

県内特別支援学校では、学校の研究主題を設定し、実践研究に積極的に取り組み、職員研修を通じて職員一人一人の実践的指導力と専門性の向上を図る研究活動が盛んに行われています。

本校においても、キャリア教育の視点を踏まえたテーマで、3年間の研究期間を設けました。特に、今年度は、本研究主題で行った研究活動及び6年間のキャリア教育実践の総括の年として位置づけ、これまでの研究の成果を検証する年となりました。

平成26年度～平成28年度の研究主題

児童生徒のキャリア発達を支えるARA・SHIの教育プログラム ～学習内容表の作成と学習評価の工夫～

今年度は、学校の教育目標「たくましく・ほがらかに・のびやかに活動できる児童生徒の育成」を目指して、児童生徒の在学中や卒業後の豊かな生活を実現するため、自立と社会参画につながるキャリア教育の視点を踏まえた実践研究を行いました(3年計画の3年次)。特に、ARA・SHIの教育プログラムを、児童生徒に最適な教育を行うための指導内容及び指導方法とし、「いつ」「何を」「どのように」をキーワードにして具体的な教育活動を設定しました。

研究の重点項目は以下の通りです。

- (1) キャリア教育の概念、各学習グループにおける包括的な授業づくりツール「Oスタイル」の活用、個々の児童生徒の学習状況の評価、授業の評価、具体的な授業改善の方法等の共通理解
- (2) 個別の指導計画に基づく「ARA・SHIの教育プログラム」の構築
- (3) PDCAサイクルによる授業づくりと実践のまとめ
- (4) 12年間の学びをつなぐ効果的な教育課程の編成
- (5) 事例検討会及び公開授業をとおした授業づくりや実践研究における課題解決
- (6) 個々の教職員の実践的指導力と知的障がい教育の専門性の向上

平成28年度公開研究発表会

平成29年1月21日(土)に平成28年度の公開研究発表会を行いました。県下の特別支援学校、地域の小学校・中学校・高校、県外の特別支援学校等から約180人に御参加いただきました。

授業研究会



公開授業後の授業研究会は、指導案をポスターにしてポスターセッション形式で行いました。

実践発表



本校が5年間続けている一人一事例研究の実践発表です。今年度は総数62事例で意見交換しました。

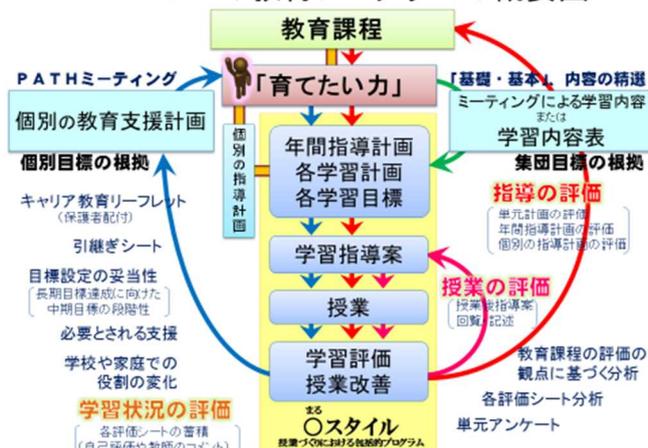
全体講演



全体講演では、全日本特別支援教育研究連盟理事長の松矢勝宏氏をお迎えしました。

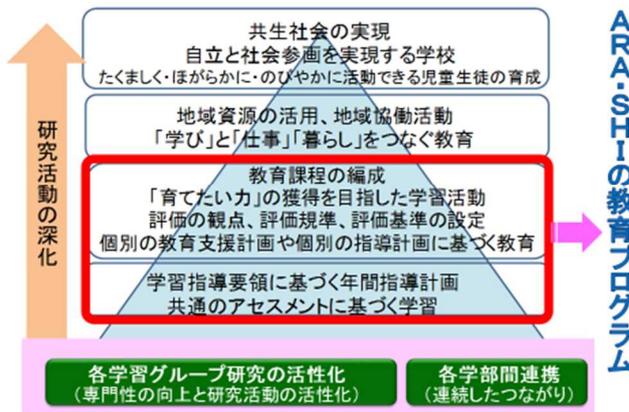
○ARA・SHIの教育プログラムの構築

ARA・SHIの教育プログラムの概要図



本校では、子供たちにも教師にも浸透している「育てたい力」の3観点「かかわる」「きめる」「はたらく」をベースにしています。個々の児童生徒の教育的ニーズに応じる具体的な教育活動を設定し、①学習状況の評価、②授業の評価、③指導の評価という3つの評価を行いながら、個々の児童生徒が確かに育つ授業づくり及び教育活動全体が計画的で系統性・発展性・一貫性のあるものになるよう教育課程の編成につなげます。

本校の研究構造における教育プログラムの位置付け



ARA・SHIの教育プログラムとは、キャリア発達を支援するためのカリキュラム・マネジメントの具体を示すということであり、教育活動全体へ働き掛ける仕組みを作り上げることです。

学習指導要領と学校教育目標を根拠として、カリキュラム・マネジメントにより、指導内容を選択し、組織し、必要な授業時数を配当します。そして、個々の教育的ニーズに応じた教育活動の展開を図ります。

○4つの研究内容

(1) 学習内容を精選した「Oスタイル」の運用

年間指導計画および各学習計画を作成し、授業改善PDCAが適切に機能しているかを、学習グループごとの包括的な授業づくりツール「Oスタイル」を策定・運用し、実践をとおして成果と課題を明らかにしました。

(2) 学習指導案の運用プロセスの明確化

生活や社会、将来の観点から必要とされる知識、技能や態度を想定した上で、児童生徒に身に付けさせたい「育てたい力」を設定し、その目標設定と学習活動、目標達成のための必要な支援が結び付いた学習指導案を運用しました。

(3) 「育てたい力」一覧表の検証と適切な指導及び必要な支援の充実

「育てたい力」一覧表を基に目標設定し、学习上又は生活上の困難を改善・克服するための適切な指導及び必要な支援の充実、体系的な学習評価の推進を図り、教育課程の改善の根拠を得ました。

(4) 個々の児童生徒に確かに「育てたい力」が身に付く評価方法の工夫

各学習グループ（小学部一般学級、中学部一般学級、高等部一般学級、小・中・高重複障がい学級）における研究会（以下グループ研究会）や一人一事例研究で蓄積してきた評価方法を整理し、深化を図りました。

▶本校では、平成28年度の公開研究発表会に合わせ、この3年間の研究活動を集約し研究紀要第23集を作成しました。上記の研究内容の詳細を御覧になりたい場合は、本校までお問い合わせください。また、今後の教育活動活性化のために、御指導、御助言をよろしくお願いいたします。